

薬第103-5号

平成26年4月17日

一般社団法人埼玉県病院薬剤師会

会長 堀口 久光 様

埼玉県保健医療部長 石川 稔 (公印省略)

医薬品の交付に当たっての確認の徹底について (通知)

本県の保健医療行政の推進につきましては、日頃格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成26年4月16日付け薬食総発0416第5号及び薬食監麻発0416第7号で、厚生労働省医薬食品局総務課長及び同局監視指導・麻薬対策課長から連名で別添(写し)のとおり通知があったのでお知らせします。

つきましては、貴会員に対して周知していただきますようお願いいたします。

担 当 薬務課販売指導担当 吉田

電 話 048-830-3622

FAX 048-830-4806

薬食総発 0416 第 5 号

薬食監麻発 0416 第 7 号

平成 26 年 4 月 16 日

各

都 道 府 県
保健所設置市
特 別 区

 衛生主管部（局）薬務主管課長 殿

厚生労働省医薬食品局総務課長

厚生労働省監視指導・麻薬対策課長

（ 公 印 省 略 ）

医薬品の交付に当たっての確認の徹底について

今般、別添参考のとおり、埼玉県内の薬局及び千葉県内の医療機関で、針状の異物が混入したボルタレンサボが発見されました。本件については、現在、警察が捜査中ですが、医薬品の交付に当たっては、医薬品の状態を十分に観察し、異常が無いことの確認を徹底されるよう、貴管下の医療機関及び薬局への注意喚起をお願いいたします。

五
薬
務
課
受
取
印
26.4.16
薬務課

2014 年 4 月 14 日

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

医療用医薬品「ボルタレン®サポ®」（坐薬）に 針状金属の混入のお知らせとご注意のお願い

ノバルティス ファーマ株式会社（代表取締役社長：ダーク・コッシャ）が製造販売する医療機関で処方される医療用医薬品である、鎮痛・解熱・抗炎症薬「ボルタレン®サポ®50mg」（坐薬）に針状の金属が刺さっているものが見つかりました。現在までの調査では、人為的なものである可能性が高いため、弊社は、4 月 12 日、埼玉県内の警察署に届け出ました。現在、警察署は捜査を行っています。本件については関係機関にも報告し、患者様の安全確保のために緊密に連携を図っています。

現在のところ、判明した事実は以下の通りです。

4 月 9 日、埼玉県内の保険薬局に、一人の患者様がボルタレンサポのアルミシートの外部から針状の金属が刺されたと思われるボルタレンサポの坐剤などを異常品として持ち込まれました。

患者様は使用前に異常に気付き保険薬局に持ち込んだため、健康被害は発生しておりません。



正常品のアルミシート



正常品の坐剤

これらの現品を回収し、現品および、弊社の 100%子会社である日本チバガイギー株式会社篠山工場（兵庫県篠山市）での製造工程などについて精査したところ、以下の理由から通常の製造工程における混入の可能性は極めて低いと判断しています。

- 本製品の原料は溶解後にフィルターを通し、さらに細い充填部を通して成形したアルミコンテナに充填するため、原料および充填工程でこのような針状の金属が混入する可能性は考えられない。
- 包装材料からの混入については、坐薬を包むアルミシートは成型型で強い圧力をかけられるため、針状の金属は変形してしまうと考えられるが現品にその痕跡は認められない。
- 針状の金属が刺さった坐薬を包むアルミシートには、いずれも穴が開いており、包装後に混入されたと思われること。
- 工程で使用する機器には今回発見されたような針状のパーツは使用しておらず、また、工具類についても同様に針状のものは使用していない。

- 本ロット製造前にメンテナンスや工事等は行っておらず、これらが要因となった可能性はない。
- 製造前には作業員がラインをチェックし、記録を残す手順となっているが、同ロット製造前に何ら異常は記録されていない。

以上のことから、今回の事案は人為的なものと考えられると判断し、警察へ届け出ました。

皆様にご心配をおかけしたことをお詫び申し上げるとともに、患者様の安全確保に努め、安定的に本医薬品を提供していくため尽力いたします。なお、異常品は目視による異常の確認が可能であり、現在までに同様の報告がなく限定的な現象です。現時点では、製品の回収措置をとる予定はありません。

ノバルティス ファーマは、関係省庁にすでに報告するとともに、当局および警察の捜査にも全面的に協力して参ります。また、患者様の安全を第一に考え、できるだけ速やかに医療機関にも情報伝達を行います。

本剤をご処方された患者様、また医療関係者の皆様におかれましては、ご面倒をおかけいたしますが、使用前および処方時に、針状の金属の混入やアルミ包装に穴が開いていないかなどのご確認をお願いいたします。何らかの異常が認められた場合は、ご使用になられず、大変お手数ではございますが、以下の弊社お客様相談窓口までご連絡をお願いいたします。

本剤をご処方された患者様：

お客様相談窓口（ノバルティスダイレクト）： 0120-003-293
（受付時間：月～金 9：00～17：30（祝祭日及び当社休日を除く））

医療関係者の皆様：

弊社医薬情報担当者（MR）または
お客様相談窓口（ノバルティスダイレクト）： 0120-003-293
（受付時間：月～金 9：00～17：30（祝祭日及び当社休日を除く））

患者様ならびに医療従事者の皆様には多大なご心配をおかけしますことを、心より深くお詫びいたします。

以上

ノバルティス ファーマ株式会社について

ノバルティス ファーマ株式会社は、スイス・バーゼル市に本拠を置くヘルスケアにおける世界的リーダー、ノバルティスの医薬品部門の日本法人です。ノバルティス グループ全体の2013年の売上高は579億米ドル、研究開発費は99億米ドル（減損・償却費用を除くと96億米ドル）でした。ノバルティスは、約136,000人の社員を擁しており、世界140カ国以上で製品が販売されています。詳細はインターネットをご覧ください。
<http://www.novartis.co.jp/>

◇お問い合わせ先

ノバルティス ファーマ株式会社 広報統括部 喜多英人
TEL 03-3797-8027 FAX 03-3797-4367
E-mail japan.novartiscommunications@novartis.com

本リリースは、厚生労働記者会、重工業研究会、厚生日比谷クラブ、本町記者会に配布しております。